教育のぼりべつ

平成３０年
12月1日
NO,20

発行;登別市教育委員会　TEL. 0143-88-1100　〒059-0014 登別市富士町７丁目 33 番地

登別市民憲章 制定 50 周年 記念式典



登別市民憲章は、昭和４３年９月２０日に制定され、今年度、５０年という大きな節目を迎えました。

これを機に、市民憲章に掲げる理念の次世代への継承、及び、改めて幅広い世代への普及・啓発を図るため、９月２２日（土）、市民会館大ホールにおいて記念式典が開催されました。



記念式典では、市民憲章唱和後、主催者挨拶・来賓祝辞に続いて、市民憲章の推進に貢献した方々への感謝状贈呈、標語コンクールやフォトコンテスト等の表彰式の他、街道重昭氏による「記念講演」、幌別・登別・緑陽中学校３吹奏楽部合同による「記念コンサート」が行われ、迫力ある演奏で、式典に華を添えました。

登別市民憲章制定 50 周年記念　*市民スポーツ・健康フェスティバル*

９月22日（土）、岡志別の森運動公園と市民プール「らくあ」を会場に、市民の健康増進や交流・親睦などをねらいとして、ソフトボール大会・パークゴルフ大会・駅伝大会や、水泳教室・水中玉入れ競争・障害物競争・パン食い競争・宝探しゲーム、ボッチャ・ゲーリング体験会などが行われました。

そのうち、屋外の岡志別の森運動公園会場では、生憎の雨模様にもかかわらず、多くの市民の皆さんが、各種の大会やイベントに積極的に参加し、随所で熱戦を繰り広げていました。



＜市民ソフトボール大会＞



＜市民パークゴルフ大会＞



＜駅 伝 大 会＞



３年生　音楽　「音楽で世界を旅しよう」



６年生　劇　「ゆきち」

芸術の秋　学芸会

１０月２１日（日）、登別小学校の体育館を会場に、学芸会が実施されました。

当日は、天候にも恵まれ、爽やかな秋晴れの中、子供たちは、これまでの練習の成果を存分に発揮して、演劇、器楽合奏、合唱等を堂々と発表し、詰めかけた多くの保護者や地域の方々から沢山の拍手をいただきました。

また、同時にＰＴＡ主催の「バザー」も開催され、観覧後に多くの方々が立ち寄り、軽食等で、楽しい一時を過ごされていました。



６年生による「おわりのことば」

学校公開　及び　公開研究会

登別市では、今年度、９月２６日（水）の幌別西小学校を皮切りに、１１月までの間に４小中学校で、学校公開や公開研究会が開催されました。また、２月には幌別小学校で学校公開を予定しています。機会があれば、市民の皆様にもご参観いただければ幸いです。



幌別西小学校　9月26日



幌別中学校　10月26日



登別中学校　10月30日



鷲別小学校　11月22日

今年度から小学校で、次年度には中学校で、「道徳科」が完全実施されることから、道徳科の研究に取り組む学校も増えています。また、新学習指導要領に基づく移行措置期間に入ったことから、小中間の接続や、教材の取り扱いに留意した、実践授業の公開も、多くの学校で見られました。

郷土資料館＜特別展＞「明治期の登別」

郷土資料館において、９月２２日(土)～１２月２４日(月)の間、＜特別展＞「明治期の登別」が開催されています。

今年は、松浦武四郎による「北海道」命名から１５０年という節目の年にあたり、北海道各地で様々なイベントが開催されていますが、特別展を通して、故郷「登別」の歴史を振り返る、大変よい機会ですので、ぜひ、ご覧ください。





なお、郷土資料館では、「特別展」や「企画展」といった「展示活動」以外にも、ボランティアグループＳＬＧの皆様の協力により、様々な「体験学習」や「工作教室」等を、年間を通じて実施しており、市内小中学校の児童生徒も「見学学習」や「調べ学習」等で郷土資料館を利用しています。興味のある方は、参加してみてはいかがでしょうか。

～２０２０ 東京オリパラで夢を育むスポーツ事業～「丹羽孝希さんトークショー＆実技指導」



９月３０日（日）、登別市総合体育館において、リオ五輪卓球団体銀メダリストである、苫小牧市出身の丹羽孝希選手をお招きして、“思い描く未来への挑戦”と題して「トークショー」と「実技指導」が実施されました。

「トークショー」では、丹羽選手から様々な体験談や、２０２０東京オリンピック出場へ向けた強い決意等を語っていただきました。

「実技指導」では、１４グループ１１４名の参加者を５分間ずつ順番に回って、サーブやレシーブなどを直接教えていただきました。また、参加者より選抜された３名の選手やコーチとの「エキシビジョンマッチ」も披露していただき、世界レベルのテクニックを間近で見ることが出来たことは、参加者にとって大変貴重な機会となりました。



文化芸術による子供の育成事業　－巡回公演－　＜ミュージカル公演＞

１０月２日（火）の午後、登別市民会館大ホールにおいて、市内８小学校の全ての６年生が、劇団「ミュージカルカンパニー イッツフォーリーズ」による「ルドルフとイッパイアッテナ」という「ミュージカル」を鑑賞しました。

この巡回公演は、文化庁の事業で、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることが目的とされ、本市では平成２８年度から申請し、実施しています。

今年度は、幌別東小学校と幌別小学校の６年生が、事前のワークショップに取り組み、劇団の方から実技指導を受けるとともに、「本番」でも臆することなく、堂々と自らの役を演じました。


舞台でダンスをする幌別東小の子供たち


出演者全員でのフィナーレの場面

第３期『通学合宿』を実施しました

今年度最後となる、第3期「通学合宿」を市内の全8小学校の5・6年生を対象として募集した結果、計42名の子供たちの参加を得て、11月6日（火）～10日（土）に「ふぉれすと鉱山」で実施しました。

この事業は、親元を離れて子供たちだけで共同生活をしながら学校に通い、「自分のことは自分でする」「状況に応じて判断し行動する」など、子供たちの自主性や協調性、適応能力などを伸ばし「生きる力」を身に付けさせることをねらいとして、1回につき、5・6年生40名を定員として、春2回・秋1回の計3回、4泊5日の日程で、ネイチャーセンター（ふぉれすと鉱山）を会場として実施しています。

子供たちは、夜の野外散策や各種体験プログラム、ゲーム大会や焼きそばづくり、お別れパーティーや焼き芋づくりなど、様々な体験活動や友達との交流活動等を通して多くの事を学び、精神的にも大きく成長して自宅へと戻ります。機会があれば、次年度は、ぜひチャレンジしてみましょう。



通学合宿に参加した４２名の子供たち


最終日　「焼いも作り」に取り組む様子